

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	【留】日本語 I A(0582)	
科目基礎情報							
科目番号	3M18			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位A: 1		
開設学科	産業システム工学科機械・医工学コース			対象学年	3		
開設期	春学期(1st-Q)			週時間数	1st-Q:2		
教科書/教材	『中級を学ぼう 中級中期』, 『大学・大学院留学生の日本語 ㊦漢字・語彙編』						
担当教員	東海林 恵子						
到達目標							
1. 中上級文法・漢字・語彙を習得する。(漢字1000～2000、語彙6000～8000) 2. 高専生活で実際に直面する話題について、大部分の聞き取り、読み取りができる。 3. 抽象的な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	中上級文法・漢字・語彙を80%以上理解できる。		中上級文法・漢字・語彙を60%以上理解できる。		中上級文法・漢字・語彙の理解が60%に満たない。		
評価項目2	高専生活で実際に直面する話題について、大部分の聞き取り、読み取りが、明確にできる。		高専生活で実際に直面する話題について、大部分の聞き取り、読み取りが、ある程度できる。		高専生活で実際に直面する話題について、大部分の聞き取り、読み取りが、できない。		
評価項目3	抽象的な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。		抽象的な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。ただし、不慣れな印象やぎこちなさを与えることもある。		抽象的な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP6◎							
教育方法等							
概要	中上級文法・漢字・語彙を学習する。また、この内容をもとに実際の使い方を練習する。 ※本講義は2年次開講「日本語基礎IIB」の続きです。						
授業の進め方・方法	学修単位のため週 1 回						
注意点	・宿題や課題の提出期限を厳守する。正当な理由なく提出が遅れた場合、評価を減ずる。 ・長期休暇中の宿題・課題も成績に含まれる。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 『中級（青）』L5 HW：『留学生の日本語』L5				
		2週	『中級（青）』L5 HW：『留学生の日本語』L6				
		3週	『中級（青）』L5 HW：『留学生の日本語』L7				
		4週	『中級（青）』L6 『留学生の日本語』L5-7小テスト HW：『留学生の日本語』L8				
		5週	『中級（青）』L6 HW：『留学生の日本語』L9				
		6週	『中級（青）』L6 HW：『留学生の日本語』L10				
		7週	『中級（青）』L5-6復習 『留学生の日本語』L8-10小テスト				
		8週	到達度試験とフィードバック				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		到達度試験	小テスト		合計		
総合評価割合		70	30		100		
基礎的能力		70	30		100		